

食の安全に関する意識調査

4 人に 1 人が家庭内で食中毒の経験あり

食肉・肉製品に不安 外食に出る人が減少傾向

マーケティングリサーチを行う株式会社メディアインタラクティブ（所在地：東京都渋谷区）では、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。今回、2011年9月22日～26日の5日間に、全国の20歳以上の家庭を持つ女性500名を対象に「食の安全に関する意識調査」をテーマにした、インターネットリサーチを実施いたしました。

昨今、連日のように放射能関連の食品の不安を煽るニュースが流れていますが、「食の安全」については放射能に限った話ではなく、食中毒、遺伝子組み換え、産地表示など、様々なポイントで問題となってきました。今回は、家庭の食生活を預かることが多いと思われる、全国の主婦の方を対象にアンケート調査を実施いたしました。

【調査概要】

1. 調査の方法：株式会社メディアインタラクティブの運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用した WEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象：全国の20歳以上の家庭を持つ女性500名
3. 有効回答数：500人
4. 調査実施日：2011年9月22日(木)～9月26日(月)

【調査結果概要】

【1】家庭内での食中毒4人に1人が経験

これまでの食中毒の経験について尋ねたところ、自身、もしくは家族で食中毒になってしまった、そんな経験をした人は全体の1/4となりました。まだまだ暑い時期が続きますので、食材の管理などには気を付けたいものです。

【2】食に関する不安項目トップは「汚染、放射能照射」

身の回りの食の安全に関して、不安だと回答された方に、その不安な項目について伺ったところ、やはり原発事故を受けた放射能の問題への不安度が最も高く、次いで、残留農薬の問題、さらには添加物の影響が不安の原因となっているようです。どれも、個人では対処が難しい問題でもあるため、家庭を守る主婦の立場では、漠然とした不安が続くことになるのかもしれませんが。

【3】不安な食品ジャンルトップは「食肉・肉製品」

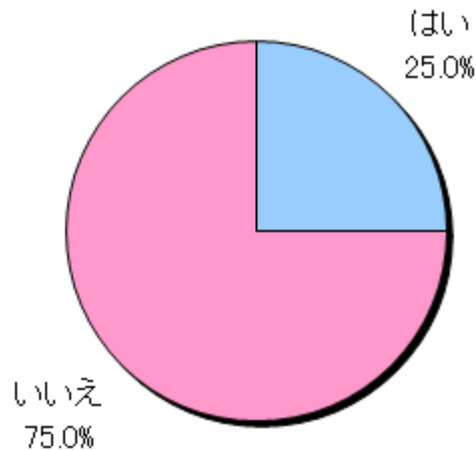
身の回りの食の安全に関して、不安だと回答された方に、その不安な食品ジャンルについて伺ったところ、上記のような項目が挙げられました。まずは、食中毒で記憶に新しい食肉・肉製品への不安が最も高く、次いで、魚介類、野菜・果物への不安が高い結果となっています。身近なところで起きる可能性の高い食中毒や、原発事故を受けた放射能汚染が心配される食品に不安が高まっているようです。

・・・本件に関するお問い合わせ先・・・

メディアインタラクティブ広報事務局 担当：飯村

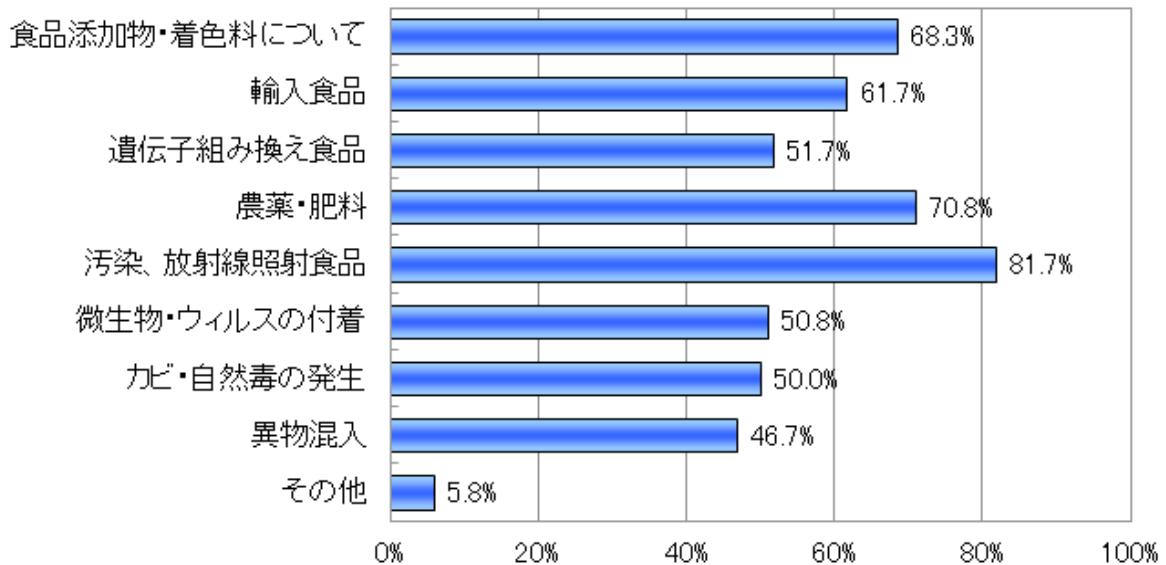
E-mail : pr@i-research.jp

Q. あなた、もしくは家族が今までに食中毒になった事がありますか。 (N=500)



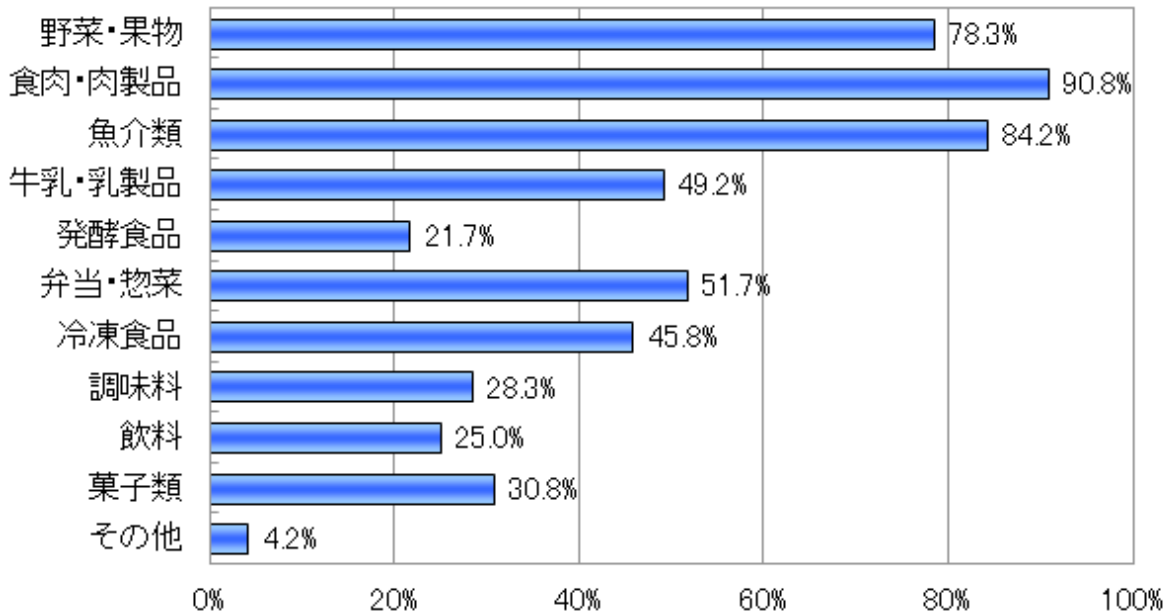
これまでの食中毒の経験について尋ねたところ、自身、もしくは家族で食中毒になってしまった、そんな経験をした人は全体の 1/4 となりました。まだまだ暑い時期が続きますので、食材の管理などには気を付けたいものです。

Q. あなたが食の安全に関して不安に思っているものは何ですか。 (N=120)



身の回りの食の安全に関して、不安だと回答された方に、その不安な項目について伺ったところ、上記のような項目が挙げられました。まずは、やはり原発事故を受けた放射能の問題への不安度が最も高く、次いで、残留農薬の問題、さらには添加物の影響が不安の原因となっているようです。どれも、個人では対処が難しい問題でもあるため、家庭を守る主婦の立場では、漠然とした不安が続くことになるのかもしれませんが。

Q. あなたが食の安全に関して不安に思っている食品のジャンルは何ですか。(N=120)



身の回りの食の安全に関して、不安だと回答された方に、その不安な食品ジャンルについて伺ったところ、上記のような項目が挙げられました。まずは、食中毒で記憶に新しい食肉・肉製品への不安が最も高く、次いで、魚介類、野菜・果物への不安が高い結果となっています。身近なところで起きる可能性の高い食中毒や、原発事故を受けた放射能汚染が心配される食品に不安が高まっているようです。

【引用・転載時のクレジット表記のお願い】

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
<例> 「インターネット調査のメディアインタラクティブが実施した調査結果によると・・・」

【詳細資料無料ダウンロードのお知らせ】

弊社アイリサーチサイトにて本調査における詳細資料の
無料ダウンロードサービスを行っております。
ご興味のある方は下記より、アクセスをお願いします。

■無料独自調査データダウンロードサービス

http://www.i-research.jp/report_dl/list.html

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディアインタラクティブ

広報事務局：飯村崇史

TEL 03-6826-5000 FAX 03-6419-8375

e-mail pr@i-research.jp <http://www.i-research.jp>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-18 矢倉ビル 6F